

13010 児童教育演習Ⅰ q Pupil Education Seminar I			3 年次～ 通年 4 単位
担当者	細川 美由紀	履修可能学科	Pe 必
		関 連 資 格	
サブタイトル	障がい児・者を心理学の視点から理解する		
授業内容・ねらい	特別支援教育の開始にともない、障がいのある子どももそうでない子ども共に地域で教育・保育を受けるケースが増えてきています。本演習では、これらの子どもたちのニーズを把握し、よりよい支援を行うためにはどうすればよいかについて、心理学の視点から学ぶことを目的としています。4 年次の演習Ⅱでは、学生個々のテーマに沿った形で卒論（実践研究）、あるいはレポートを仕上げていく活動を行います。そのため、演習Ⅰでは卒論・レポート執筆に必要な基礎知識の確認や討論を行うと同時に、研究の進め方についても学ぶ予定です。		
授業計画	前期：障がいを抱える人たちの理解に関する書籍や資料をもとに、担当を分担してその内容をまとめ、内容に関する討論を行います。 後期：特別支援教育・障害児保育における対象理解の方法として、心理学的視点の中でも特に、障がい児・者の認知や言語、学習、行動などに焦点を当てた学びを行います。具体的には、複数の資料をもとに 1 つのテーマについて調べて発表するグループワークを中心に行います。可能であれば、特別支援に関する実践を行う現場へ見学・参加する場合があります（その際の交通費等は実費負担となります）。		
教科書 参考書	授業内で適宜紹介します。		
評価方法	出席状況や授業態度・提出物やレポートの内容を総合的に評価します。		
事前準備学習 履修条件等	対象の理解は、机上の学習のみでは成立しません。よって、ボランティア・実習等で実際に障がいをもつ方たちと関わる経験をした人、これまでの経験はなくても今後、積極的に関わる意志のある方が望ましいです。		